

未来の福島県知事選挙 実施要項

1 目 的

高校在学中に有権者となる県内の高校生に対し、選挙に関する模擬体験（模擬選挙）の機会を設けることにより、政治・選挙に関する知識及び関心の向上及び、政治的・社会的な諸問題に対し、自ら考え、判断できる有為な人材の育成を図る。

2 主 催 福島県選挙管理委員会、福島県明るい選挙推進協議会、福島県教育委員会

3 実施時期 令和8年4月から令和9年3月

4 内 容

模擬選挙は県の課題（例：社会福祉、人口減少問題等）を選挙争点とし、大学生又は専門学校生を候補者、高校生を有権者と位置付けて行う。

高校生は、候補者の政見資料や新聞等（以下「候補者の政見資料等」）を活用し、県の課題の現状と候補者の政見を比較・分析して投票を行う。

項 目		内 容	実施形態・時間
①事前学習	選挙に関する基礎学習	選管作成テキスト、選挙クイズ等により、投票を行うための実践的知識を学習。	教科等 1～3時限 (50～150分程度) ※左記の内容は事前学習の一例であり、 <u>学習の内容や時間は、学校ごとの裁量により自由に設定可能です。</u>
	個人学習 グループ学習	候補者の政見資料等を用いて、自らの意見をまとめる。 グループに分かれ意見交換を行い、自らの意見を確定させる。	
②模擬投票	政見放送上映会	各候補者の政見放送（DVD）の上映	教科等 1時限以内(50分程度)
	投票・開票	本物と同じ材質の投票用紙・本物の選挙機材（投票箱、投票記載台等）を使用し、投票・開票を体験。	教科等・昼休み・放課後 投票(30分程度) 開票(20分程度)
③事後学習		○選挙結果の発表、振り返り ○アンケート記入	朝や帰りのホームルーム (10分程度)

※ 使用教材等は選挙管理委員会で準備します。

5 実施方法

(1) 選管連携型

県選挙管理委員会及び市町村選挙管理委員会が使用教材等を提供し、投・開票所の設営や投票・開票手続を実施。

※事前学習及び事後学習は各学校に運営していただきます。

(2) 学校中心型

県選挙管理委員会及び市町村選挙管理委員会が使用教材等の提供を行い、事前学習、事後学習の運営、投票・開票における投票・開票所の設営や投票・開票手続は各学校が実施。

※各学校における投票・開票手続を円滑に行うための参考として、県選挙管理委員会事務局作成の「投票・開票マニュアル」を提供します。